

第1回久留米市まち・ひと・しごと創生会議  
各委員からのご意見への対応について

参考資料①

1 総合戦略全般について

No.	意見者	意見の概要	対応
1	久留米商 工会議所 本村 会頭	・久留米市は他の地域に比べて、優れたロケーションなど優位性を持っている。こうした久留米の強みを活かし、 <u>久留米の実情にあった戦略をつくる必要がある。</u>	・久留米市が持つ強みを活かし、戦略推進の最重要課題として施策横断的に取り組む事業群を「政策パッケージ」として位置づけ、基本目標の実現に向けて取り組みを進めます。
2	久留米銀行協会副 会長（代理） 福岡銀行 田代 執行 役員	・仕事柄、多くの総合戦略を目にするが、その地域の実情に即したものであることが重要である。 <u>選択と集中で、どのポイントにフォーカスするかが大切である。</u>	・戦略推進の最重要課題として施策横断的に取り組む「政策パッケージ」と、個別の課題に対応する重点事業である「政策事業」とに整理して、メリハリをつけて事業を展開してまいります。

2 基本目標ごとの取り組みについて

(1) 安定した雇用を創出する

No.	意見者	意見の概要	対応
3	久留米銀行協会会 長 筑邦銀行 佐藤 頭取	・鳥栖市の九州国際重粒子線がん治療センター、久留米大学がんワクチンセンター、また市内の核酸医薬を開発する企業などがあるので、 <u>「がんの先進医療地域」として打ち出してはどうか。</u> ・生活を豊かにするものが今後日本で流行してくると思う。他所では得られない、 <u>生活を豊かにするようなコンセプトの「起業」をどう支援するかが大切になってくるのではないか。</u>	・「高度メディカルシティづくり事業」において、「がん治療拠点化」に向けた取り組みを盛り込んでいます。（P21） ・『久留米で創業』応援事業において、様々なコンセプトからの起業を含めて、創業支援から創業後のフォローアップまでの取り組みを盛り込んでいます。（P11）
4	久留米大学学長 （代理） 有馬 理事	・5つの高等教育機関と産業界があることが強みであるが、若者が地元に残りたいと思うような企業がないと若者の流出を止めることは難しい。残ってもらうために、 <u>魅力ある産業をどう創出するのかについて協議が必要である。</u>	・創生会議や経済雇用分科会での協議をもとに、「産業集積推進事業」や「ものづくり企業イノベーション促進事業」、「豊かな農産物を活かす食と農の連携強化事業」など、魅力ある産業創出に向けた取り組みを盛り込んでいます。（P18、P19、P21～22）推進にあたっては、産官学金等が協働して取り組むこととしています。

5	久留米市 農業協同 組合 緒方 代表 理事組合 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産物の販売力強化の具体策について、輸出支援、6次産業化の支援、農商工連携、見本市などあるが、<u>少し具体化し、実現性のある確定版にしてほしい。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「豊かな農産物を活かす食と農の連携強化事業」において、医福食農連携による病院食やスマイルケア食品といった新商品開発など、久留米産農産物の高付加価値化に向けた具体的な取り組みを盛り込んでいます。（P21～22）</li> </ul>
6	久留米銀 行協会 西日本シ ティ銀行 農 塚 常務執 行役員 筑 後地区本 部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年層の流出を止めることが一番であり、そのために、<u>企業誘致や農業の充実などを金融機関と一緒に考えていてもらいたい。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「産業集積推進事業」において、金融機関による本社機能誘致の誘導策の検討・実施を盛り込み、「豊かな農産物を活かす食と農の連携強化事業」において、産学官金と医療・福祉・介護の連携した取り組みを盛り込むなど、金融機関と連携した取り組みを進めていきます。（P18、P21～22）</li> </ul>
7	西日本新 聞社久留 米総局 古賀 総局 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>出資という形で創業支援ができないか。原資については、ふるさと納税のような仕組みやクラウドファンディングを使って市外に住む久留米出身者から資金を確保する方法がないか。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『久留米で創業』応援事業において、金融機関等と連携したクラウドファンディングの活用支援を盛り込んでいます。（P11）また、具体的な取り組みの参考とさせていただきます。</li> </ul>
8	連合福岡 北筑後地 域協議会 鹿田 議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近、地元での就職を希望する親や子どもが増えていくと聞くと、久留米では条件が合わず、市外に出ていっている。企業側のPR不足や就職する側の情報不足などにより、うまくマッチングしていない実情もあるのではないかと。若者の流出に歯止めをかけるという視点からも、若者への就職指導や就職相談等、雇用環境整備等を検討いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用創出や就業促進、就労環境整備支援を総合的に取り組む「雇用・就業応援パッケージ」を政策パッケージとして掲げ、特に学生の地元就職に向け、「学生・企業Win<sup>2</sup>事業」において、産官学金労の連携による協議会を設置し、地元就職を促進する取り組みを盛り込んでいます。（P11～12）</li> </ul>

(2) 久留米市への新しい人の流れをつくる

No.	意見者	意見の概要	対 応
9	久留米銀行協会副会長（代理） 福岡銀行 田代 執行役員	・久留米は医療や教育、おいしい食べ物など人を惹きつけるいろいろな地域資源がそろっており、交通アクセスもいい。そうした、 <u>久留米が持っている競争力を活かして人を増やす取り組みを大きな柱にしてはどうか。</u>	・久留米市が持つ強みを活かし、戦略推進の最重要課題として取り組む「政策パッケージ」を総合戦略の柱と位置づけています。その中で、久留米がもつ潜在力を活かして人を呼び込むものとして、「移住・定住安心サポートパッケージ」「オール久留米で観光客獲得パッケージ」を掲げています。（P13～P17）
10	厚生労働省福岡労働局 甲斐 雇用均等室長	・福岡都市圏に近いという久留米のアクセスの良さがあるので、「雇用も住まいもすべて久留米で完結」ということではなく、 <u>雇用の場の創出はしつつも、戦略として、「住んでいい久留米市」という観点もあっていいのではないか。</u>	・日本一住みやすいまち・久留米を目指す観点から、移住・定住に関して、「『久留米暮らし？ いいね！』事業」において、久留米暮らしのよさを知ってもらい取り組みを盛り込むとともに、「移住・定住安心サポートパッケージ」において、移住希望者や移住者への支援を盛り込んでいます。（P24、P13～15）
11	（株）キャリアード 佐藤 代表取締役	・友人が竹富島で民宿を経営しているが、竹富島は「何もない」魅力を上手に発信し多くの観光客、移住者をひきつけている。 <u>「楽しい、美しい、やさしい」まちづくりが大切で、「ここで子どもを産みたい」「ここで生きていきたい」という感覚がとても大事ではないか。</u>	・「『久留米暮らし？ いいね！』事業」において、久留米の魅力の効果的な発信を盛り込むとともに、「移住・定住安心サポートパッケージ」において、「子育てつよーいみかた事業」、「文化芸術・スポーツによる楽しみ創出事業」を盛り込み、安心して子育てができ、心豊かな暮らしが実現できる住みたくなる、住み続けたい都市づくりを進めます。（P24、P14～15）
12	西日本新聞社久留米総局 古賀 総局長	・ <u>移住や観光客の誘致のターゲットとして、福岡市や福岡都市圏を強く意識した施策があってもいいのではないか。</u>	・東京圏や福岡都市圏をメインターゲットとして、「『久留米暮らし？ いいね！』事業」における久留米の魅力や情報の発信、「移住サポート事業」における移住者支援などに取り組むことを盛り込んでいます。（P24、P13～15）

13	西日本新聞社久留米総局 古賀 総局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米大学、新古賀病院、鳥栖の重粒子線等の施設と連携して、「<u>がん治療先進拠点</u>」としての色を強く出し、<u>医療ツーリズムの形で人を呼び込むのがよいのではないか。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オール久留米で観光客獲得パッケージ」において、民間が主体となる観光事業推進組織、久留米版DMOの設置を盛り込んでおり、その中でさらなる観光振興策について検討を進めます。</li> </ul>
14	久留米銀行協会会長 筑邦銀行 佐藤 頭取	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高良山や水天宮、筑後川、豊かな農業地帯といった魅力があるが、<u>そのアピールが不足しているのではないか。交流人口をいかに拡大していくのが大切であり、魅力のアピールにどう取り組んでいくのか。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オール久留米で観光客獲得パッケージ」において、民間が主体となる観光事業推進組織、久留米版DMOの設置を盛り込んでおり、その中でさらなる観光振興策について検討を進めます。(P17)</li> </ul>
15	久留米市 校区まちづくり連絡協議会 吉田 会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ブリヂストンの海外社員を日本に連れてくる仕組みをつくり、これを久留米への交流人口拡大施策の一つとして位置づけられないか。社員研修で久留米を訪れ、久留米の特産物などをPRし、リピーターとなってもらうような取り組みを、久留米市と一緒にやってはどうか。久留米市の良い所、よかった所の振り返りや検証をやっていくことが大切である。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オール久留米で観光客獲得パッケージ」において、民間が主体となる観光事業推進組織、久留米版DMOの設置を盛り込んでおり、その中でさらなる観光振興策について検討を進めます。(P17)</li> <li>・「産業集積推進事業」において、本社機能誘致の誘導策の実施を盛り込んでおり、産業振興奨励金の拡充などによる誘致の取り組みを進めてまいります。(P18)</li> </ul>
16	(株) キャリアード 佐藤 代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある海外の子弟を日本に受け入れるアレンジをしているが、豊かな農産物や水、そして自然など、久留米は海外の人にとって、とても魅力的だとのこと。<u>ビザの問題など難しい面もあるかもしれないが、外国人の受け入れも今後取り組むべき課題ではないか。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大学の魅力向上支援事業」において、外国人留学生の受け入れ推進を盛り込んでいます。(P20)</li> <li>その他の外国人受け入れについては、研究・産業分野での人材確保のあり方と合わせて、今後検討を進めます。</li> </ul>

(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

No.	意見者	意見の概要	対応
17	厚生労働省福岡労働局 甲斐 雇用均等室長	・ <u>女性が働きやすい職場を作ることによって、結果的に若者が働きやすい職場に繋がり、U I J ターンによる地元定着にも繋がるのではないか。</u>	・「ワーク・ライフ・バランス応援事業」において、仕事と子育ての両立のための取り組みを盛り込むとともに、女性活躍促進事業において、女性の就業継続などの取り組みを盛り込み、性別に関係なく、若者も含めて働きやすい職場環境づくりを促進します。(P12)
18	久留米男女共同参画推進ネットワーク 吉岡 会長	・ 今いる市民の方が安心して豊かな暮らしができる久留米であってほしい。子育て分野でも就学援助を利用している家庭も多い。そうした生徒が学校を卒業したあと、高校に進学できているのか、正社員として就職できているか、 <u>困難な状況にある人たちに就労の場所がきちんと確保されるような取り組みが必要である。</u>	・総合計画において、貧困の連鎖を防止する総合的な取り組みを進めることとしており、その具体的な取り組みの参考とさせていただきます。
19	久留米市中学校父母教師会連合会 宮崎 母親委員	・ <u>高齢者や子ども、母子家庭の子どもたちに優しい社会になるよう、考えていただきたい。</u>	・総合計画において、「お互いのやささと思いやりの見えるまち」を施策の柱として掲げ、支援を必要とする人々を地域全体で支え合う仕組みの構築に向けた取り組みなどを進めることとしています。

(4) 安心な暮らしを守る

No.	意見者	意見の概要	対応
20	九州大学 坂井 教授	・ 都市空間を久留米のブランドとして売り出すため、首都圏を含む多くの人々が「住みたい」と思うような、 <u>市民の生活の質を高める緑の拠点、グリーンインフラによる都市景観の形成が必要である。</u>	・「久留米市景観計画」における目標の一つに「筑後の中心都市としての賑わいと潤いのあるまちなみ景観づくり」を掲げ、地域の景観特性に配慮した道路・公園等の整備の推進及び民有地の緑化等によるゆとりと潤いの創出により、良好な生活環境を創出する景観づくりを目指し、取り組みを進めています。
21	西日本新聞社久留米総局 古賀 総局長	・ スマホや携帯電話を活用して、企業が間に入り、 <u>お年寄りでも簡単に使える買い物発注システムにより、買い物弱者と地元の商店をつなぐような仕組みができないか。</u>	・「地域特性を活かした周辺地域形成事業」において、買い物弱者のための取り組みに対する支援を盛り込んでおり(P29)、その具体的な取り組みの参考とさせていただきます。